

「市民会議×熟議 2026」を開催します！

主催	加古川市・兵庫大学
日時	令和8年7月25日（土）午前10時～午後4時
場所	兵庫大学（加古川市平岡町新在家2301）
内容	熟議（熟慮＋議論）は、自分たちの住む地域の課題を発掘し、その課題への対応策を熟考し、自らが解決に向けて実行することにより、課題解決を市民自らが考え、担う機会とすることを目的としています。 2019年度から加古川市と兵庫大学との協働により開催しており、今回は「持続可能な公共交通の実現に向けて」をテーマにそれぞれで考えていただきます。 テーマ 持続可能な公共交通の実現に向けて 実施内容 令和8年7月11日（土）に開催された、熟慮講演会を基に、ワークショップ方式により討議し、その意見をグループごとにとりまとめ、提案します。 参加者 市民：40人、高校生・大学生：34人 合計：74人（予定） ※ 市民は、18歳以上 70歳未満の人の中から無作為抽出により選ばれた1,500人のうち、参加を承諾された人 ※ 報道機関への取材案内となります。 一般傍聴の受付はありません。 （ 初めて ・ ☒恒例 ・ ●回目 ）
申込先・方法	直接会場までお越しください。（兵庫大学 17号館407教室）
目的・背景 その他	市民の意見を加古川市のまちづくりの参考にするため
市ホームページ	☒ 掲載済み ・ 掲載予定（●月●日） ・ 掲載しない
広報かこがわ	●月号に掲載 ・ ●月号に掲載予定 ・ ☒ 掲載しない

問合先

加古川市 市民活動推進課 市民協働係 （担当：河島・濱西）
☎079-427-9764

協働のまちづくり市民会議×熟議2026

熟議（じゅくぎ）とは：単なる多数決ではなく、情報を共有し、相手の意見を尊重しながら熟慮し、議論を重ねて新たな提案をすることです。

テーマ：持続可能な公共交通の実現に向けて

2026年 **7月11日(土)** / **7月25日(土)**
10:30～12:20 10:00～16:00
熟慮講演会 市民会議(議論)

● 会場：兵庫大学 17号館407教室

公共交通は通勤通学、買い物や通院等、生活に必要不可欠です。しかし利用者数の減少による路線の廃止や運転手の不足など取り巻く環境は厳しい状況にあります。一方で自動運転技術やライドシェアなど新たな技術や方法も広がりつつあります。こうした変化の中で、将来にわたって持続可能な公共交通を実現するための方法を熟議しましょう。

参加者：無作為抽出にて選ばれた加古川市民、および市内・近隣の高校生と兵庫大学生・短期大学生

参加要件：熟慮講演会、市民会議の両方に参加でき、熟慮課題について考えていただける方

熟慮講演会へのご出席が難しい場合は動画をご視聴頂きます

第1部：熟慮講演会(事前学習)

議論の前に、専門家から現状と最新情報をお伝えします。

山口 行一 ※ビデオ出演
大阪工業大学 教授

専門：都市計画、交通計画。データとシミュレーションを用いた持続可能な都市移動の第一人者。

田端 和彦
兵庫大学 教授

専門：地域福祉、社会経済。加古川市地域公共交通会議会長を務め、地域の現場に精通。

第2部：市民会議(議論)

無作為抽出で選ばれた市民の皆様と、次代を担う高校生・大学生が同じテーブルを囲み、加古川地域の未来の公共交通について語り合います。

■1 加古川市長より講評を頂く予定です

■2 参加者の皆様に昼食を提供致します。リラックスした雰囲気でお話しを深めましょう



スクールバス

JR東加古川駅から大学間のバスが利用可



預かり保育

小さなお子様連れでも安心して参加できます

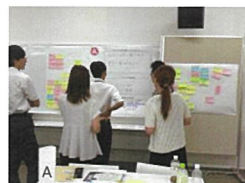


駐車場完備

お車・自転車での来場も大歓迎です

参加費
無料

どなたでも負担なくご参加いただけます



→詳細については裏面へ！

お問合せ先

加古川市市民協働部市民活動推進課
〒675-0065 加古川市加古川町篠原町21-8 カピル21ビル5階
☎ 079-427-9764

「協働のまちづくり市民会議×熟議2026」について

平成31（2019）年3月に加古川市は「加古川市協働のまちづくり基本方針」を策定し、あらゆる機会を通して、市民との協働を進めてきました。「協働のまちづくり市民会議×熟議2026」もその一環であり、兵庫大学・兵庫大学短期大学部の熟議手法を用いて、幅広く市民の意見を政策に取り入れる方法となっています。討議型世論調査の考え方を参考に、無作為抽出で選ばれた市民を参加者として、テーマについて熟慮をするため情報を共有し、参加者自身が考える時間を取り、考えを整理して議論に臨んでいただきます。議論の結果を共有し、市民と行政が協働し、市民も自ら役割を果たしつつ政策を実現していきます。また結果だけではなく、議論の前後での参加者の意見（世論）を比較、分析をすることで取り組みの重要度を明らかにすることができます。

兵庫大学・兵庫大学短期大学部が実施する「協働のまちづくり市民会議×熟議 2026」は、シティズンシップ（市民資格）教育を担うものでもあり、参加する市民や高校生、大学生の地域への誇りを喚起し、まちづくりへの参加意欲を高めることにもつながります。

このことは主権者教育にも資するといえます。その一步を一緒に踏み出してみませんか。

【協働のまちづくり市民会議×熟議2026の流れ】 兵庫大学の熟議手法には下記のような6段階があります

①事前

1. 熟慮講演会

日時：7月11日(土)10:30～12:20

会場：兵庫大学17号館407教室

講師：山口行一(大阪工業大学教授)・田端和彦(兵庫大学教授)

議論の前に、専門家から現状と最新情報をお伝えします。

②当日

2. 熟慮課題への取り組み

「持続可能な公共交通の実現に向けて」を話し合うための熟慮課題を示します。講演会を聞き、課題を完成させ提出してください。詳細は熟慮講演会にてお伝えします。Googleフォームを用いて皆様より課題の提出やアンケート調査を受け付けます。

3. 市民会議（議論）対話から生まれる、新しいアイデア

日時：7月25日(土)10:00～16:00

会場：兵庫大学17号館407教室

無作為抽出の市民と高校生、大学生が6～8人のグループで議論をいたします(ワークショップ)。議論の進行をファシリテーターがお手伝いをします。熟慮の内容を発揮し議論を楽しんでください。

4. 共有

各グループでの議論の成果を発表し、加古川市長より講評を頂く予定です。発表頂いた成果は、現在策定中の加古川市地域公共交通計画への参考とします。

5. 振り返り

「協働のまちづくり市民会議×熟議 2026」の成果について、アンケート調査の実施、また参加者の投票でより良い取り組みを選ぶ参考とします。

③事後

6. 活動

それぞれの立場で活動をしましょう。市は政策として取り組みます。兵庫大学は参加者の皆さまと市の取り組みを今後とも後押しをいたします。

「協働のまちづくり市民会議×熟議2026」の詳細は、下URL(右QRコード)の熟議公式ホームページをご覧ください。(QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。)

<https://www.hyogo-dai.ac.jp/jukugi/>

